（明治四十一年三月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜日及祭日の翌日休刊　明治四十二年六月十日（木曜日）　第百三十一號（一）

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## 出頭沒頭（四）　みどり

▲余輩は漢城政界といふ字句に對し一種異樣の感を催うし候、外交もなく立法府もなき被保護國の朝鮮に政界といふ字句の用ゐらるゝは是れ洵に變則に候、而して此の變則は表面上國政に參議する大臣及び地方官なるもの有之が爲めなるべく候、宜なり漢城政界の動搖といへば必ず某々なる野心家が某々大臣を陷排して其の後を襲ふとかさなくばある挾雜連の結社が時の內閣を叩き毀して其の後を乘つ取るか位の騷ぎの外に何等の意味無之候之れ恰も大黒柱なくして徒らに床の間の飾物たらんとして競爭するに同じことに候、何の効かある何の果かある、床の間の飾り物はよろしく大黒柱を立て得るやうになりて後にてよろしく候

▲地方は措ていはず京城あたりの歷々たる兩班にて近頃貧困の境に陷り衣食にすら窮するもの往々有之候が洵に以て愍憐のいたりに堪へず候、當局に於ても何とか救濟の方法を考慮され彼等をして安堵せしむるやういたされたく候も要するに彼等にして將來奮勵の心起らず反省の念生せずんば一時の救濟は何の役にも立たず候「門開萬福來地拂黃金出」などゝ暢氣に濟まし込み居るやうでは到底世には立てず否な三度の食事さへも覺束なく候、要するに彼等が筆にする辭令を不自然的に解し生を受けし肉体を自然的に處し居り候

▲現今の女學生は概ね墮落せる由に候、而して余輩は何が爲めに現今の女學生が墮落せるやとの問題を解釋せんとする劈頭に當りマヅ余輩の腦裡に湧き來るものは彼の女學生の讀み物として出版さるゝ幾多の雜誌に候、思ふに現今發行せる幾多の女學雜誌はマヅ其の口繪に於て感服不致點有之候、开は他なし徒らに少數なる上流貴顯の家に生れし令孃もしくは此等の家に嫁きし令夫人等を掲挿せざれば富豪勢家の邸宅乃至居間等を掲挿いたし候が蓋し此等の寫眞版は唯徒らに思慮淺く意識弱き女子をして羨望の念を喚發せしむるの外他に何等の心理的利便を與へず候、而して羨望の念は軈て慾望の念となり慾望の念は軈て矜衒の念を生せしむるものに候、ソレよりも地方に旌表され賞嘆さるゝ烈婦貞女等を掲げ以て質實堅固の氣風を養はしむるがよかるべく候（八日午後二時記）

## 文苑

### ●決心●　新出前持

パンを求め得ずしての餓死、職を得ずしての悶死、何れにしても男子としての恥辱である、餓に追はれては乞食をする人もある、更に意氣地なくも盜賊をすらも爲る人もある、今余が餓に追はれて料理屋の出前持になつたからとて決して恥かしくはあるまいと思ひ定めて口入屋へ明日から其の方へ周旋して呉れと頼んで歸つた其の晩は此の頃に覺ねない程心地よく睡られた、今日から愈々出前、紺法被に八反の平グケ、似合ふだらうか

### ●うき草●（上）　松井蘿宵

花のかざしをふるはせて
彈きたる絃の手をとめて
ほろりと落す一しづく
たゞたはかたの戀ならず。
春の日遲し暮れがたし
寮の紅梅たゞ散りて
秋の夜長し明けがたし
空房の雨たださむく。
胡蝶も羽は交せるを
燕も雙び棲むものを
あゝ我戀はなる期なし
なるなき戀に我は泣く。
夕日さびしき奥城の
あるじの名をば問ふ勿れ
語るもかひなし歌ひ女と
はふれし身にて消き戀を。
路傍の柳墻の花
手折らんとする人憎し
さはれ漂ふうき草の
うたてや花に身を餝る。

## 俳句

●興來七句●

雨乞や銅羅を擲げば雲動く　虎耳
行暮れて門に灯を乞や灯取蟲　同
振袖に灯取蟲飛ぶ廊架かな　同
測量の旗の動くや木下闇　同
樵夫が晝餉の石や木下闇　同
悠然と鑑浮く池や夏柳　同
飴賣が錢讀む夕や夏柳　同

## 佐倉宗吾（百二）　眞龍齋貞水講演



圓「それでは宗吾郎、最早別れぢやぞよ」宗「御手代樣、御免下さいまし」互に涙を流して、圓珠院は奥の院、宗吾は階の下へ入りまして、息を殺して將軍家の御成を待ち奉る、如何に圓珠院樣の御蔭とは申しながら下郎下司の身を以て、將軍家を驚かし奉り御直訴に及ぶさは大罪至極、なれども多くの人の生命を助ける此宗吾どうぞ御宥し下され、首尾よく御直訴の叶ふやうにと、心の內に念じて居りますと、時は萬治元年十二月二十日、三代將軍家の御忌日に付き、四代將軍家御孝心深き御方で居らせられるに依つて、雨が降らうが、雪が降らうが、必ず此日は御參拜を御遂げに相成ります、愈よ御支度が出來ますと、御本丸の正面に御箱臺と謂ふものがある、其御箱臺に、朱塗の金の葵の紋散しになつて居る箱が乘りますと、此方へ立つて見て居りまする御徒士の者が、直ぐに大手へ來り、其注進をする、唯今上樣御成になりますと云ふ事を、大手へ告げるのでございます、すると大手から龍の口それから、筋違御門の御見付、それから黑門、それから御本坊と告げる、而して御本坊より御靈屋へ告げる、もう其合圖が段々に、それからそれへ御知らせになると、御靈屋に於て御讀經が始まるのでございます、今しも蘭麝の名香は馥郁として鼻を穿つ計りなり、宗吾は階梯の下へ隱れてゐると、ガラリ／＼、沓音高く聞ゆ、



（下總國印旛郡公津村宗吾の墓地）

るのは、これは皆な三十六坊から、御靈屋へ御詰め掛になるのであります、ホウ——ホケキヨウ——と冴へ渡る鶯路の大猷院殿の御靈屋は、此世からなる安養淨土かと思はるゝ計りでございます、其內に讀經の御聲、次第／＼に御山に響き亘り、唯有難く身に泌みて、名香の匂が鼻を穿ち、何となく恍惚するやうな心持であります、然る所へ愈よ龍の口より順路を經て、上樣が下谷御成道から御橋へ掛ると、上野袴腰の處へ篝火を焚いて、ズウツと警衛をして居るのが根來同心でございます、說には御階の下から、宗吾が御直訴をしたやうに、何の本にもありますし、又芝居狂言にも、朱塗の御橋の下から出るやうに成つてありますか、御靈屋と云ふのが其の御話であります、あれに階梯と云ふ「ハシ」から採つて、御橋に書いたものでございまして、なか／＼御橋わたりの處で、御直訴などは出來るものでございませぬ、第一出來た所が、御家來の手に願書が上つて了うものでございます、扨て、上樣黑門を御入りになりまして、御本坊へ御立寄になり、此處にて宮樣と御對顏あそばし、將軍樣と宮樣が、暫時御挨拶があつて、夫から御暇を御告げ遊ばし、御參詣に相成るので、將軍家の御姿が、御本坊の御玄關、菊の御紋の付いて居る、御唐紙の所まで入らせられると、直ぐに御靈屋の方へ、上樣が成らせられると云ふ事を知らせらるゝ、是が第一の注進、第二番、第三番の御注進が御靈屋へ御乘込みとなるのでございます、愈よ第一番の鈴が、リン／＼／＼、リーンと奥の院で鳴ります、其內に二度目の鈴がリン／＼／＼、リーンと聞へる、宗吾は心の中で「誠に恐れ入つたる事なれども、上樣を驚かし奉る段、何卒御宥し下し置かれるやうに」と思ふと、唯身体がブル／＼ツと戰慄へる、所謂戰場の武者顫いと同じく、自然と身体が戰慄へる、其の中にシーイツ／＼と云ふ制止聲が聞へると、御袴の衣摺音がザワ／＼と聞へる、すると「御清草履」と云ふ御聲が聊か聞へる、シイーツと云ふ聲がすると、リン／＼／＼と圓珠院樣が今心を籠めて、御內陣の方にて鈴を御振り遊ばすと、上樣が御足を御清草履へ御載せ遊ばしました

# 伊藤公に寄す

京城日報

●此際辭職の不必要●

久しく世人をして疑はしめたる公の進退も、頃者略ぼ決定し、近き將來に於て現實となりて愈々統監職を辭任せらるゝに至りしと聞く、世人は公が長白山頭埋骨の豪語や、治外法權撤去の氣焰談を捉へて其辭任を彼是論評するも、是れ甚だ無理なる注文にして公の性格を熟知せざるもの也、公は火酒の機嫌にて意氣堂々大空に横ふとか、英雄の心胸とか所謂英雄豪傑を氣取るの僻あり、長白山頭埋骨の如きも火酒機嫌のみ素より衷心より出でたるに非す、公や元來英雄豪傑の肌に非ずして所謂故高杉晋作の俊介も中々才子なりとの評に恥ぢざる人也、才子たるの公は處世の術に巧也、難を避け易に就き、着々功を收めたるは公の經歷に鑑みて何人も歎賞する所、然るに韓國統治の業や頗る重難にして公が掉尾の業を飾る能はす、却て從來の偉勳を抹するの恐れなきに非す、公の聰智なる能く之を知る、而も三年有半に亘りて施設せる所は最初に於ける豫想に反し事毎に失敗の傾きあり、前途亦頗る難事たるを悟了せらる、此際に於て職を後進に讓るは怯なるが如くして實は智也、是れ公一身の爲にも、帝國の對韓經營上にも或は喜ぶべき事ならずや、大隈伯の云へるが如く統監たるには必ずしも公の如き勳爵高き人を要するに非す、帝國政府の方針さへ確定し居らば何人にても統監たるを得べし、公が辭任したりとて決して統監政治の將來を憂るに及ばず、老人は由來老婆心強く何事にも容喙し過して干渉を試みんとするもの也、元老政治の起る所以茲にあり、深く戒めざる可らず。

頃者東電の報ずる所に依れば、公は新統監と相前後して京城に來られ告別大園遊會を開かるべしと、果して事實ならば甚だ不可也、若し公にして來らば例によりて必ずや乃公假令去るも帝國の對韓方針は變せずとか、或は自巳の政策を踏襲せしむる等の言辭を逃べん、斯る言辭を弄して言質を取らるゝに於ては後任者が其施政に頗る障害を受くるのみならず、帝國の對韓經營に支障する所決して尠しとせず、公が其職を去るも爾來りて此事に出でんとするは畢竟老人通有の老婆心と歸めの付かざると、且つ最後の花を飾らんとする虚榮心とに外ならず、公の性格として斯る華麗的形式を好むならんも、今日の場合に於ては決して是を爲す可らず、公の老婆心及虚榮心を充たす爲に保護政治の幾分を犧牲にするが如きは愚の極也、此際公の取るべき途は**最高顧問**抔を夢見ることなく靜に退て後任者に自由手腕を揮はしむるを要す、公にして飽迄參りて告別の宴を張らんとすれば後日其

## 東京電報

▲**桂首相の參内** 桂内閣總理大臣は本日内閣會議中參内し何事か奏上する所ありしが再び閣議に列せり

▲**桂侯と曾禰子** 曾禰副統監は本日午前内閣に於て桂總理大臣と會見したりと

▲**親任式は一兩日** 統監親任の事は昨日桂首相の奏上にて決定し宮中の御都合にて一兩日中に親任式行はるべき由(以上八日夜發)

▲**改修工事着手** 安奉線は今夏より改修工事に着手せんとて滿鐵會社より外務省に對し附屬地行政權問題の解決を迫りつゝあり

▲**加俸額の發布** 韓國に在勤する鐵道官吏の加俸額は高等官本俸の十分の五、判任官は五級以上は十分の八六級以下は金二十圓とすと今朝發布せらる(以上九日午前九時發)

## 外報一束

●**米國の殖民省** 小麥は續々西部に向け同地方人民の消費に充つる爲送り戻されつゝあり是れ一般に小麥が缺乏せる結果なるが斯の如き現象は未曾有の事なりと稱せらる

●**空中定期航行** 瑞西國ルセルン及び獨逸國フリードリッヒスハーフエンの間に飛行船の定期航行を開始すべき確實なる相談進行中なりと

●**米國小麥缺乏** 大統領タフト氏は目下錯雜せる米國の屬領地および地方の政治を統一せんがため殖民省を設立せんとて計畫中なり此計畫は一般的のものにしてアラスカ、ダアム、布哇、ポートリコ、サモア及び比律賓群島に適用すべきものなりと

●**清國人頭税案** 極東清國人人頭税案は財政委員會にて政府の提案通過し定營事業に外人使用の權を尚一年總督の權限に屬せしむることに決せる由

## 雜報

●**三税則發布期** 地方費法の公布と同時に發布さるべき筈なりし地方費會計規則、地方財産管理規則及地方費を以て設置すべき吏員の規程は曩きに法令審査會に於て立案したるも種々なる事情の爲めに荏苒今日に至りたるが過日開會せし内部に於ける道書記官會議に於て同案に就き各書記官の意見を徴したる處大体に於て略一致したるを以て目下閣議に提出中の由なれば愈々不日之れが發布を見るに至るべしと

●**魚附林の箇所** 農商工部にて魚附林設置の計畫あることは

[illegible]

●**兩相の[illegible]視察** 李總理、趙農相は八日午前[illegible]に參内し秘閣内なる宮中の[illegible]を視察したりと

●**文川郡飢饉と救恤** 咸南文川郡に於ける四月二十日より同二十八日に至る救恤は窮民千七百六十三人に對し發給者一人に對し五十九錢六厘再給者一人に對し十九錢八厘の割合を以て施給したりと

●**二税免除の不認可** 大邱居留民及新義州居留民よりの請願に係る家屋税外二税の免除に關する件は石塚長官事務取扱に於て六月九日付を以て詮議の餘地なしとて所管理事官へ宛て通牒を發したりと

●**觀光團の旅行日程** 熊本觀光團一行は九日正午より一進會の催しに係る明月館の歡迎會に臨み夕刻下仁一泊の上十日開城に向ひ同地に一泊十一日平壤を視察し十二日再び入京すべしと

●**平壤石炭の産額** 平壤鑛業所にて昨年中に採掘したる石炭額は前半季一萬七千二百九十二噸價格七萬七千八百十四圓後半季二萬九千百九十五噸價格十三萬一千三百七十七圓にして合計二十万九千百九十一圓なりしといふ

●**釜山新聞記者團** 釜山新聞記者及び通信員等相謀り今回釜山新聞記者團を組織することゝし其の創立委員として報知の海部、大阪毎日の山口、大阪朝日の井本の三氏を擧げたりといふ

●**東拓報告書配布** 東拓會社にては過日の株主總會に出席せざりし株主等に總會にて承認を求めたる財産目錄、貸借對照表、利益配當表及株主名簿を印刷に附し配布する事としたるが既に印刷出來したるを以て一兩日中より配布す可しと

●**昌德宮前道路改修** 昌德宮敦化門と廟洞巡査派出所間の道路を改修する事とし中部貞善坊水門洞、美文洞、上麻洞、中麻洞、下麻洞、大廟洞、罷朝橋、泥洞、樓洞等兩側二間内にわる土地家屋の賣買交換讓與典當等又は該洞内の家屋の新築等を禁止する旨内部大臣より告示を發せり

●**元山の輸出入現況** 最近元山理事官より其筋に報告せし處によれば昨年來の輸入品に於ては煙草、砂糖、麵粉の外は商況概して不振にして輸出入額共に三十八年以來の最低額なり昨今の金融も商況に伴れ資金の澁滯甚だしく船舶の出入も前年に比し少なからず減少せりこれ多分定期航海を休止したるによるならんといふ

●**東拓の株券事務** 東拓會社は昨年十二月を以て株劵の代りに領收證を交付し其後本株劵を渡さんとする

[illegible]

●**韓國の黒鉛と米國** 黒鉛の需用は製鋼、鑄造品及鉛筆等の材料として需用多きものなるにも拘はらず其産地は頗る稀少なるが米國紐育の如きは毎年四萬噸の黒鉛を印度より輸入し居れる由にて在紐育の水野總領事は韓國の黒鉛を以て有望なりとし今回外務省の手を經て見本の送付一ヶ年の産額積出港の相場取引を爲し得る者の資産及準備の有無を問合し來りたりと云ふ

●**東拓の漁業經營** 東拓會社が韓國の漁業に就て計畫せることは豫て報道せし處なるが聞く所によれば會社は農商工部と協議の結果平安南北道の漁權全部を得べき旨にて農商工部は會社の爲めに便宜を與ふると同時に漁業權に付ても個人の便益を圖るべき協定を爲したる由にて會社は權得せし漁業權の行使を漁業家と協定して經營すると同時に會社自身に於ても經營する筈なりと云ふ

●**滿鐵顧問東拓訪問** 滿鐵會社顧問チース氏は八日吉原副總裁を東拓會社に訪問し事業現況及將來の計畫等に就き問ふ所ありたりと

●**道書記官會議**(學部所管) 學部に於ける道書記官會議は九日午前十時より同議會議室に於て開會されたり先づ李學部大臣は訓示演說を爲し夫れより本田文書課長及俵長席に着き說明事項(一)實業學校の件(二)私立學校の件(附日本人教員に關する件)(三)代用補助指定學校の件(四)教科書の件(五)施行規則改正の件(六)曆書の件に就き協議したるが尚十日は協議事項、(一)教育に關する各道書記官提出意見に關する件(二)地方費法施行後地方費を以て支辨すべき教育事業の件に就きて協議會を開く由

### 李學相の訓示要項

一、最近地方教育の振興に伴ひ各觀察道の教育事務も著しく增加し殊に私立學校令施行と同時に私立學校の設立は總て認可を受けざるべからざるに至り而して之れが認可の申請は悉く觀察道を經由することゝなり又認可後に於ける實際上の指導監督は一に諸君の力に俟たざるべからず隨て今後各觀察道の教育事務は非常に激增するならん此秋に當り各觀察道に定員の增員せらるゝあり務に教育擔任の主事一名を特置せられたるは本大臣の滿足する處なり聞く該主事は日本に於て多年教育の實際に當り十分教育上の經驗を有し中には既に韓國に於て數年教育の任に當れる者あり隨て其手腕と經驗は大に諸君を補助するに足るべきを疑はず幸ひ赴任の際には本部に招集し次官より詳細訓示する處ありたるを以て學部の方針も略ぼ了解したることゝ信ず尚各管下の普通學校には夫々通牒を發して今後一層觀察道

[illegible]

三、現在我韓國内に於ける官公立普通學校は約六十校にして未だ十分ならずと雖も諸君の知らるゝ如く官公立普通學校の設置並に維持に就ては巨額の經費を要し此上尚多くの學校を增設する事は國家財政上許さゞる所なるを以て本年度より官公立普通學校に代用するの目的を以て乙種公立普通學校又は私立學校の内設備稍や完全にして維持方法の比較的確實なるもの二十校を選び之れに適當なる日韓人教員一名づゝを配置し其俸給旅費舍宅料の全部を國庫より支辨し以て各教員をして良心教育の任に當らしめ以て私立學校の模範を示すことゝせり而して之れが場所の選定設立者との協定等に關しては少からず諸君の勞を煩はせし其結果今や大概場所も決定し夫々教員も配置するに至れり右補助學校設置の理由は前述の如く之れをして公立普通學校の不足を補ひ以て之と共に地方幾多の私立學校をして之に倣はしめんとする所謂私立學校の模範を示すにあり而して將來之れが實績を擧ぐるに付ては十分補助の指導と援助に俟つもの多し例へは教員の給料旅費舍宅料などは國庫より支辨するも其他一切の經費は地方に於て負擔せざるべからず其他校舍校具の設備學徒の募集財源の供給等に關し十分助力を與へられ以て學部か今回補助學校を設けたる趣旨を十分貫徹せしめられんことを望む(以下次號)

## 寄書

### 韓國中央銀行論(六)

ケー、シー生

(其の五續き)

(一)取上げの**猶豫期間**

●特●權●解●除●の●手●續●に●關●す●る●協●定●事●項●

第一銀行より紙幣發行權を取上ぐるとせは其實行の前に相當の猶豫期間を設くるの必要あり唖嗟急激に發行を廢止するあらんか啻に第一銀行の損害多大なるのみならず一般經濟界にも少からざる迷惑を與ふへければなり、普通の順序に依れは發行權取上の時を以て第一銀行は最早紙幣の發行を廢止するを要し而して發行の廢罷と同時に從來已に發行せる紙幣に對して正貨引換の準備を整へざるべからず然るに第一銀行券は現在發行額の内約三分の一は正貨の準備ありて何時にても引換得べきも其三分の二は保證準備にして即時に引換能はざるが故に此三分の二に對する引換資産は貸出を回收して之を準備するの手順となるべし而も此貸出回收は相當の時日を要するや無論なり又一方第一銀行が已に紙幣の發行を廢罷する時には他の一方に於て第一銀行に代りて新に紙幣を發行すべき中央銀行の存在を必要とするが故に韓國中央銀行の成立後に於て第一銀行の發行權を解除するが穩當の措置なるべし此く一方には第一銀行に對し貸金を回收して引換資金を準備するの期間を與ふるを必要とし一方には中央銀行を新設して紙幣發行の設備を整へしむるの必要あり●さ●せ●は●本●問●題●取●上●の●猶●豫●期●間●は●少●く●と●も●滿[illegible]ヶ年[illegible]

(二)[illegible]**紙幣の處分法**

第一銀行の紙幣は一定の期間を以て其通用を廢止すると同時に又一定の引換期間を設けて正貨若しくは新紙幣と交換して以て其整理を完了すべきものなり而して其通用及引換の期間は幾年を以て適度とするか又引換の義務は何人が之を引受くべきか此等の疑問に對する余輩の意見は左の如し

一、通●用●期●間●は●特●許●解●除●の●時●よ●り●滿●三●ヶ●年●と●す●

二、引●換●期●間●は●通●用●廢●止●の●時●よ●り●滿●五●ヶ●年●と●す●

三、引●換●の●義●務●は●韓●國●政●府●之●を●引●受●く●べ●し●

四、引●換●事●務●は●新●設●の●中●央●銀●行●之●れ●を●取●扱●ふ●べ●し●

一及二は程度の問題にして人に依り見る所を異にすべきも余輩は韓國經濟界の實狀に察し前示の年數を以て適當の期間なりと認む

三及四は幣制改革の際に於て人心の危懼を防ぎ財界の動搖を避けんが爲に引換の義務は政府之を負擔し其實際の事務は新設の中央銀行をして取扱はしむるが最も適當の方法なるべし而るときは特許解除の時を以て第一銀行は引換資金を政府に交付して銀行券に對する引換責任の免除を受け之と同時に引換の義務は政府に移るが故に以て人心の動搖を防ぎ得べく以て整理の目的を期し得べし

●**益山の水利事業** 群山地方に於ける益山、臨陂、咸悅三郡の水利組合が現に計畫に屬する水利設備は益山郡駿橋店にある周圍七里の大溜池を修理する目的にして灌漑區域は益山、臨陂、咸悅三郡の約三千町步に亘る工費約十萬圓の大工事なり日韓人共同の事業にかゝり資金は韓國政府より無利子貸附を乞ふ見込にて既に請願書を提出せしが近々總會を開く順序となり居れり

●**十日の歸還部隊** 大邱第十二旅團司令部恒吉少將以下各幹部將校は八日大邱に於ける送別會に臨み九日午後七時三十分着の臨時列車にて太田生目田聯隊長の率ゆる一隊と共に釜山に赴き一泊の上第三琴平丸にて十日出發の筈なりと

●**漢城倶樂部の擴張** 皇族其他貴紳の倶樂部として建設したる北部齋洞の翠雲亭は地面狹少なるを以て今般之れを擴張し漢城倶樂部と改名する由

●**巡査募集の出發** 第二巡査募集の爲め内部警務局勤務寺島警部は宮城、靜岡兩縣へ警察官講習所勤務安田警部は岡山、石川兩縣へ出張すべき旨は既報の如くなるが愈々十日朝南大門發列車にて出張せり

●**大朝北京特派員** 大坂朝日新聞北京特

[illegible]田正雄氏は八日入京巴城館に投[illegible]滯在の上滿洲を經て[illegible]

●**農工銀行の移轉** [illegible]農工銀行は[illegible]永登浦に移轉したり

●**一昨日出入船舶** 仁川港一昨日の入港船は香椎丸一隻にして上陸者は男十二名女四名乘船者は男三十六名女四名なり

## 公人私人

▲中田六男(大邱林業事務所長) 八日入京三日月

▲村上半三(長崎自由倉庫株式會社重役) 同上 同上

▲森本俊之助(水原林業事務所長) 同上

▲坂東安一(共同運輸株式會社重役) 同日入京巴城館

▲野手耐(元山稅關長) 同日入京不知火

## 近事片々

▲伊藤 公統監辭任に就て優渥なる勅語降下せんと公が老後の面目光榮嘆や感泣せむ

▲告別 大園遊會を開て公が最後の花を飾らむが爲來韓すと何處迄も其性格躍如たり

▲桂侯 曾禰子の行爲に就て警告せしとかの說あり事實ならば曾禰子は首肯せしや否

▲韓人 間には目賀田男度支部大臣となりて再び來らむと噂す然り唯夫れ韓人の噂耳

▲目賀 田男の勢力は沒々現はれ來り今は韓人等も其卑見に服する爲に斯る風說は起る

▲同男 の度相は最適任なるも男が能く曾禰子の下に居るべきかとは矢張韓人の說也

▲伊公 李容九を主賓として招きたる時口を極て李及び一進會を激賞したりと事實か

▲桂侯 迄が奢孫貪て李及宋を讃め立てたりとの說は受取れぬ事實なれば頗る變挺古

▲先號 沈頻に喜ばざりし李及一進會を公が激賞せるは世に謝する心算一種か

▲總務 長官は安倍古賀奥田杯と種々噂あるも未だ確定せるには非ず石塚君居据りか

▲日韓 懇業問題もチロル氏來遊の爲に急に運ぶの傾向ありとタイムスの勢力甚大

▲隈伯 の日本も英國も駐墨正貴國外交はマキャベーズム云々は全く奥相蓄破の言

▲小村 外相の病氣は捗々しからず何となく世人は伯の身を氣遣ふ務に外交多事の時

▲回復 遠ならすとせば無論外相の椅子を去らむ然らば後任者は誰れ適材狀權必要也

▲巴爾 幹問題にて感情を害せるを緩和せんが爲に獨帝は露帝と芬蘭土灣に會見すと

▲獨宰 相ビ氏露外相イ氏も之に從ふ果して能く露國民の感情を緩和する事を得るや

▲布哇 在留邦人の罷工失敗に終らば數すべし衛萄人一萬を代りに傭入ると是も排日

▲當段 節最初の相撲は好角家を失望せしめたるも本取組に於ては大に賣が入り來る

▲新大 關太刀山が高見に破られ怪物玉椿の敗杯は注目するに足る常陸山は存外元氣

●漁業母船の取締

韓海漁業に從事する母船（運搬船、漁獵船を含む）は韓國政府より母船漁狀を受け簡易に…業の目的を以て母船の名義を借り密貿易其他種々の反則の行爲をなすものあるより税關に於て其取締を一層嚴重にし朝鮮海水産組合に於ても充分の取調べを遂げたる…にして營業者間には其れが爲め多少の不平を唱ふるもの有れど今後は規則を設け取締を嚴にすべしと



●京城座見物（下）　劇痴生投

其次が稲葉の剛三で是れが工藤とも云ふ可き大敵である、風采と云ひ調子と云ひ申分はないが時々滑稽の弱白あるは愼む可き事ならん、敢て芝居全体が小さくならぬ余りにせよくせぬよふにして子役何某は不得要領である、ピストルで足を撃たれて仆れた者が花道の駈け込みには丸で忘れて居たのは何と云ふ不注意だらう瀬川の婆々は適り役である那の實都の左衛門は神妙に演じて居たが余り泣き過ぎはせぬか氣質の頑固一徹の方が適るのではないか、あれ橋本の輝夫であるが丸で五郎の性格を穿ち違いて居りはせぬかと思ふ程の腕白者で假りにも騎兵伍長である、兄に向つて「何で俺れより先き歸つたか、失敬な」或は「ドレ〳〵」「コレ兄貴…」抔實に不遜極まる言葉である、殊に足を以て兄の脊中を突くなどは言語同斷と云はねばならぬ、秀夫が父の死骸を…と云つた時に「コレ親爺ぢやないか、親爺今歸つたぞ」と云ふに至つて肝腎の愁嘆場は此れに依つて毀損せられたり惜むべし兄…ければならぬ蓋し…遁入の注意である…感じたり伎倆の成…して輕視すべきも…日の好評氣は何より目出度し〳〵（れはり）

●墓地發掘から刃傷

▲高麗燒を發掘せんとし

仁川署管内江華嶋三海面地方は高麗燒の發掘地として世に知られ居れるが同城居住福岡縣人横川一雄（三十）外日本人三名韓人二名の一行は矢張り高麗燒發掘の目的にて過日來同島に渡り三海面方面に到りたるが下道面と稱する所に一の墓地を發見したれば一行は咽喉を鳴らして其の發掘に着手せんとしたる所同洞居住の韓人金正德なるもの來りて無斷にて墓地を發掘するは無法なりとて絶對に之れを制したるより同行は何に生意氣など憤怒の色を見せたる郷中に…横川一雄は異個に怒り逃ぐる金を追ひ掛け遂に同人宅の裏手まで追ひ詰め所持せる仕込杖を引き拔き横金の左前頭部に長さ一寸五分深さ骨膜に達する重傷を負はせたり〔無料〕▼同島派…

●素砂附近の强盜

▲邦人四名の韓人と鬪ふ

仁川新町一丁目松尾精肉店事伊藤辰之助（四十）こと云ふは常に素砂方面に出掛けて牛の買入れをなし居り一昨日も例の如く自轉車に打ち乘り素砂の市場に赴かんものと素砂市場を距る七丁手前チャバラ川と云ふ所に至るや突然二名の韓人前面に立ち現はれたると見る間もなく一人の韓人は足を揚げて辰之助の乘れる自轉車を蹴り倒したる際又もや二人の韓人出で來り辰之助に打つて掛りたれば辰之助も一人で同方面に出掛くる程の男なれば躍り掛り來る韓人原を左右に投げ倒し暫しは組んず組まれつ格鬪したるも多勢に無勢遂に四人の爲めに打擲され所持金圓及び懷中時計を掠奪せられ四人は何所ともなく姿を隱し出所巡査の探知する所となり一雄は數日前逮捕せられ一昨日船便にて仁川署に護送せられたるが無斷にて墓地を發掘し高麗燒を盜み取ることの惡しきは云はずもがな無辜の韓人を殺傷し私腹を肥やさんとする邦人のまだ跡を絶たざるは慨はしきことならずや

〔紳士の遊興振〕



▲大久保雅彦君

君は愛媛縣出身で學生時代から秀才の聞へ高く少壯にして辯護士となり三十四歳にして同縣政友會支部より選出されて一度び代議士となりしも例の河野議長の奉答文問題で議會の解散となり引續き候補者として逐鹿場裡の人となりしも不幸落選せしかば斷然政界を退き其の開業地たる松山を引拂ひ當地に來られしは今より五六年以前であつた、君は政治家で辯護士と云ふ職業柄交際酒は殆ど毎日の樣にやらるゝであらふが君の遊興振はと訪ねると君こう愈花より團子の方である、今でこそデブ〳〵太つて居るが其昔は眞に紅顔の美少年であつた君の爲めに思ひを焦がし又思を達した婦人は恐らく幾百人を以て數ふるに至るであらふ、其れかと云ふて君は隨分酒も呑むが近來は呑んで陶然たれば國名物の淨瑠璃が出る其十八番は三勝と、日吉丸のさはりである以前は殆ど朗讀的であつたが近來は中々上達して隅へは置けぬ樣になつた、それに例の方も此頃では可愛い赤チャンが出來た勢か大掃除はフッツリ思切つたそうだ、併し以て生れた（一寸こゝは預り）は仕方がない時々は遠征をせらるゝ樣子だが其行先きは何處であらふか險呑〳〵……（投書歡迎）

次は鈴木司税局長

●八人組の强盜

▲内三名は短銃を携ふ

再昨日三人組の强盜京城に現はれしが又々一昨日午後十一時二十分頃北部齋洞六十六統八戸金俊植方へ八名の韓人强盜押入り此内三名は短銃を携帶して内房及び客室に侵入して家人と客人を恐迫し物品十六點（代十三圓五十錢）外に現金一圓五十錢を强奪して遁走したりと再昨日の强盜に救はれて漸く…たる後三十分程經て一韓人に救はれて漸く歸宅したるが右犯人は目下捜査中なりと

●天氣豫報（自九日午後六時至十日午後六時）

西の風曇

●酒の上の刄傷

永樂町一丁目四十三番戸居住井上鶴吉（三十）と云へるは歌舞伎座の道具方にて平素頗る正直なる男なるが一昨日歌舞伎座の果後午前三時頃一盃機嫌で自宅に歸りしに丁度向側の飲食店栗村直太郎方にて同町三十四番戸居住大工職溝口市太郎がへゞレケとなり鶴吉を見るや譯も無く暴言を吐くにて正直な代り至つて短氣な鶴吉は殊に一盃キコシメシたる折柄とて内市太郎に一口二口爭ふナイフを所持して現場に至り一刀斬り付けたる騷ぎに警官出張して鶴吉を引致せしが多分示談を遂ぐべしと

●煙草の掻浚ひ

中部壽典洞李仁植（三十）は八日午後四時四十分頃明治町一丁目十四番戸藥店田中伊藤次方店頭に陳列せる卷煙草大和二十個入一箱を掻浚つて逃走せしを主人の伊藤次が認め直に追跡し曙町入口にて取押へ本町派出所へ連行き其儘南部署に引渡せらる

●拾得物の下渡し

南大門外御成町島田憲三郎は昨年五月廿四日曙町に於て金十二圓を拾得して南部署に届出で置きしが滿一ケ年を經過するも遺失者判明せざりしかば昨日同署より該金の下渡しを受けたり

●小兒犬に咬まる

仁川花町三丁目豆腐商川口藤太郎方の飼犬は一昨日同町若林正男（四つ）の手首を咬みたるより矢野獸醫診察したる所狂犬にあらざりしと

●馬を放ちて説諭

仁川宮町三丁目運送業金色傳藏（六十）と云ふは同地花町三丁目の街路に馬を放置したるより警官に嚴重なる説諭を加ねらる

●新町だより

月下樓の忍事國枝すゞ（三十）は芽出度年期を終へ原籍横濱市中村町十三番地へ歸宅仕候▲去る八日の定期檢梅で病院へ居續けせしは寄春樓の笑助、第一樓の園枝、滿月樓の若松、南山樓の小福、南緑、山遊樓の千代松の六名にして第一樓の九重は又々病氣に罹り娼賀は休まざるも通院加療中なる事を特に御報知申上候▲一昨夜は頗る客足少なく總体で九十四名なりしが獨り省春樓のみは平素よりも多く二十三名に有之候

●東京大相撲勝負附

大相撲二日目の重なる勝負及び同三日目の取組は左の如し

| 勝 | 負 | 勝 | 負 |
|---|---|---|---|
| 瀧の音（預）男島 | | 司天龍（つり）小常陸 | |
| 稻瀨川（預）神崎 | | 大湊（よりきり）有村 | |
| 鏡川（もたれ）小柳 | | 大緑（よりきり）柏山 | |
| 緑島（ひねり）尼ケ崎 | | 西の海（いつちやう）鳳 | |
| 國見山（ひねり）兩國 | | 梅ケ谷（よりきり）千年川 | |

中入後

| 勝 | 負 | 勝 | 負 |
|---|---|---|---|
| 氷見濱（したてなげ）錦戸 | | 立川（すかし）山泉 | |
| 浪の音（うはてなげ）黑瀨川 | | 大の川（はじき）上ケ汐 | |
| 朝嵐（したてなげ）鶴渡り | | 碇潟（つきはなし）玉椿 | |
| 高見山（よりたふし）太刀山 | | 常陸山（よりたふし）伊勢濱 | |

右の中當日大番狂せなる高見と太刀の手捌を掲げんに、高見の太兵元より厄介ものなるも相手は精悍無比なる新大關放れても組んでもこの相撲太刀七分高見三分と見てあるに中ち仕切り直十數回の後立上るや太刀猛烈に突勝るを高見よく捌て左を差し勢込で寄進み太刀の下手投を高見外掛に殘し太刀の体の棒立氣味になれる機會を計り勝はこゝぞと息をもくれず寄倒し高見の勝は意外の番狂はせ滿場覺へずワッと計り大喝采

「三日目の取組」

神崎　瀧の音　男島　平の石
山泉　稻瀨川　氷見濱　有村
紫雲龍　立川　小常陸　鏡川
大緑　錦戸　尼ケ崎　上ケ汐
大湊　鳳　碇潟　黑瀨川
小柳　鶴渡り　大野川　緑島
千年川　伊勢濱　朝嵐　司天龍
兩國　玉椿　西の海　柏山
浪の音　國見山　高見山　梅ケ谷
常陸山　太刀山

▲犬に成つた人▼

紳士甲「杉山が例の伯爵未亡人と結婚してからは全く犬に成つて仕舞つた」
紳士乙「どうして」
紳士甲「……だつて毎日〳〵食ふて寢て、ゴロして可愛がられる計りだもの」




捏造中傷無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲太平町通りの二葉亭に居る梅子と云ふスベタは二三度來た高襟男に惚けて大事なる金の指輪二個迄してやられて今では青菜に鹽も宜しく悄れ返つて居るか何うか指輪の戻る樣祈して男も元の通り來て呉れる樣にと隨分虫の善い相談を弘法樣やら稻荷樣へ物して一生懸命願を掛けて居るとはれ氣の毒樣な氣持かする（同情生）▲歌舞伎座の金澤とか云ふ馬の脚だか豚の臀だかは五日の晩北米倉町の銀水さと云ふ家で久子女郎さチン鴨でなくつてウモー牛鍋かなんかでヒソ〳〵と樂しみお安くねね（立聽生）▲九日の京城日報に井門の政子の本姓が可笑しと記いて…正當に…




角商會代理店　前川自轉車店　京城南大門横

讀むので村の名にもあつて決して珍らしい苗字ではありません（政子の情夫）▲副統監の息寛二君が芳川顯正伯の令孃と結婚の約が成立したさうかで第一樓のあの妓は大鬱ぎ湯茶も咽に通らん程で此の頃は水ばかり飮んで居ると云ふが可憐そうに赤痢にでもならなければよいが（麻雀）▲私は或る會社の使用人ですが同じ使用人の中に不正直者がありますから當人には氣の毒だけれど主人の爲めにならぬから之れを重役に密告した所が重役は使へる奴は多少の缺點はあるサと云つた限りです私はモウ其社に見込がないから退め樣と思ひますが小僧君何うでしようか（苦首生）▲れ退めなさい斷然た退めなさい如何に使へたからつて不正直者を使用して居る必要はない然るに夫れを廢めさせないと云ふは即ち顧客に對して其社自身が不信切不正直者なのだ左樣いう社が永遠に發達する譯がない退社なさい（小僧）▲此の頃夜に入ると料理店の軒を列ねたる所謂狭斜の巷を拏三味月琴等で囃し立てゝ來る門藝者がある其の一行の内に五ッか六ッ位の女の子が拍子木を撃ちながらアッアッと調子を取りつゝ混つて居るが私は夫れを見ると何時も涙が出る前途は實に暗黑ではありますまいか私も國へ殘して來た同じ位ひの女の子がありますが（落魄者）

拜啓新綠蒼々之候愈御清福奉欣賀候陳者不肖龍山民團へ在職中は公私共不一方各位の御眷顧を蒙り感謝の至りに不堪候實は一々拜趨御禮可申上筈之處公私多端の際乍略儀以紙上御禮申上候也

五月三十一日　淵上貞助

廣告

謹告

不肖耕司今回病氣退職ノ處在職中ハ公私共不一方御懇命ヲ蒙リ御蔭ヲ以テ今日アルヲ致セシコトニ不堪感酪殊ニ過般仁川病院入院セラレ付テハ深厚ナル御同情ヲ寄セラレ候段非常ナル御配慮ヲ煩ハシ候段只管感激ノ外無之昨今幸ニ順快ヲ得退院ニ付一々拜趨御挨拶可申中ナルモ尚部治セズ且ツ静養衰体ニ付セ復ニ一爲メ當分静養ヲ要シ候ニ付テハ直ニ歸郷ノ上豐後別府温泉ニ於テ湯治致度ノ病中欠禮ノ段御宥恕希上候孰レ全快ノ上御禮旁御再來ヲ期シ中候右大方辱知各位ニ謹告ス

六月十日　仁川　富田耕司




京城民團政務大演説會

來る十一日午後六時より旭町歌舞伎座に於て

寫眞養成所新設

志望者ハ六月三十日迄に申込アレ
郵券封入アレバ規則書進呈ス
龍山元町三丁目（電話参貳番）

芦谷審美館

土管瓦煉瓦

土管

瓦

煉瓦

陶榮商店の販賣する土管は摸範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌
土管瓦煉瓦販賣元

京城本町二丁目
（肥）陶榮商店
（電話百十三番）

病室完備入院隨意

移轉廣告

從來の向へ元（韓城新聞社跡）へ移轉す

十全病院
電話七三七番

訂正增補　第六版特價即賣廣告

大日本人名辭書

大本全一册（紙數二千七百五十頁）定價金拾五圓
六月三十日限り◉特別割引金九圓
但東京市外は小包郵便料四十八錢臺灣、清、韓、樺太七十錢を要す
本版は人員に於て四千三百餘名を增補し附するに諸系譜並に和漢洋年表を以てしたれば前版に比し一層本書の面目を新にせり、乞ふ此好機を逸せず速に御注文あらんことを、御送金の上は直ちに發送致すべく候

明治四十二年六月
東京京橋彌左衛門町七番地
電話新橋八十七番
振替東京二一二九番
合名會社經濟雜誌社

内外科、眼科（入院隨意）
花柳病科

瀧澤醫院

本町六丁目五十番戸（電話六二一番）

…藥房發賣の…眞珠白龍丹…試用の分に限り定價の半額に割引仕候

京城新報　明治四十二年六月十日（木曜日）　第一千二百卅一號

各種
# 洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
# 朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●家庭教師　年廿五歳普通教育有る婦女會社病院商店の事務員又奥様ある家庭の上女中に採用したし保證人あり　名在社（二七八）

●私立朝鮮徒弟學校開始す希望者は込あれ規則書入用の向は郵劵二錢送　龍山本町三の六六　吉村又平治

●注意　紹介依頼者にして電話を有せさる御方は依頼の際郵劵封入有りたし左なくは諸般の通知をなすに由なし（係）

●買子募集　廿歳以上の男子六名入用　旭町一の六〇　旭町競賣所（二八〇）

龍山の寶城生に告く　君とは別人なり（係）

物件部

●貸家　龍山元町電車通（チンカン局隣）地所七十坪韓家屋十八坪地所共格安貸たし　氏名在社（二七九）

●電話讓受たし　本町民團役所前　佐々木
●砂金鑛讓物あり　本町民團役所前　佐々木

廣告

# 腦病に服薬は大敵

腦病神經衰弱ヒステリー症に罹り徒らに服藥や安靜療養を貪りつゝ淋しき月日を送る人は効驗卓絶なる本劑を試られよ

藥價
三劑吹霧器付　金六圓
一劑廿五日分　金二圓
半劑十日分凡　金一圓
試用五日分凡五十五錢

腦神經系病專門醫學博士三利先生發明

腦鼻液

主治効能
腦病、神經衰弱症、血の道、喘息、癲癇、ヒステリー症、頭痛、逆上、眩暈、耳鳴、記憶力減少、肩の凝、肥厚性鼻炎、不姙性、中風、鼻茸、其他音聲の嗄き等に特効あり
●本劑には特に其攝生法を明記添附す
東京市日本橋區濱町二丁目（大川端）
腦鼻藥元祖
# 壽仁堂藥房
電話浪花四五一五番
振替口座東京一一九九四番
●無効の類似品あり登録商標に御注意あれ

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉舘跡（茂呂運送店前）
開通
戸田病院
電話九三八番

本所は江湖の依頼に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手續書は郵劵一錢五厘御送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分拆署技師粟野傳一
鐘路通丁目
漢城鑛物分析所（電話二三八番）

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五六六

---

旅館
西洋料理
南山町
元日本人倶樂部
御食事は和洋共御好に應じ申候
大食堂の外輕便なる新築小食堂あり御來餐奉願候
# 京城ホテル
長電一二三　電四九二

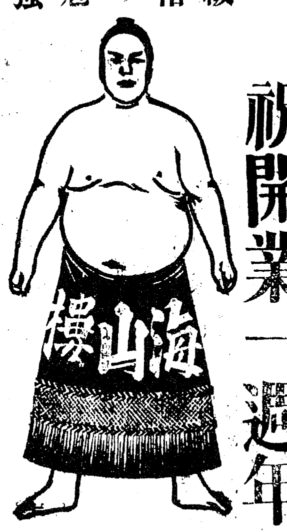
內國製產品博覽會（於四十二年大阪市）名譽大賞金牌受領
第六回製產品博覽會（於四十二年京都市）名譽金賞受領




特約店（いろは順）
本町六　田中支店　電話七六四番
本町四　前田酒店　電話一三七番
本町五　酒井政平　電話六四番

明治廿年七月創立
# 東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辦店　本町四　山口呉服店　電話九
事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

破格の勉强




# 祝開業一週年

當店儀昨年以來當地櫻井町に營業罷有候處各位の御引立を蒙り日増繁榮に赴き候段難有奉鳴謝候付ては開業滿一週年に相當致し候間聊祝意を表する爲め今迄の風習を改革致し一切色氣無しとし料理は其道の達人を雇入れ破格の勉强仕り候間賑々敷御來車の程奉希上候謹言

會席一人前八十錢ビール一本付
仕出しも同額にて速に持參致ます

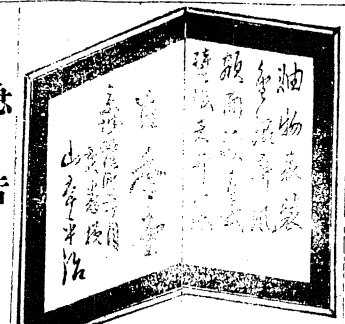
京城櫻井町一丁目
# 海山亭
電話九百七十八番

# 開業御披露
本町二丁目本町座跡

# ビヤホール共樂園
庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる價格の低廉なるは共に我園の誇とする所なり

---

# 朝日石鹸製造所



急告
●今般當院●慈惠部●を設け資力少なき患者●名を限●入院治療●需に應す●
但入院料實費を起へす
龍山老松町（電話一二八番）
# 上田病院慈惠部

公告
當會議所議員半數改選期に付き來る九日より十一日に至る三日間當會議所内に於て毎日午前九時より午後四時迄選舉及び被選擧名簿を縦覽に供す
明治四十二年六月七日
京城日本人商業會議所
會頭　中村再造

營業科目
諸官衙御用品調達
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣
東京　ランバーグ商會代理店
東京　中外アスファルト株式會社代理店
東京　千代田生命保險相互會社代理店
東京　博文舘發行書籍特約店
東京　金港堂發行書籍特約店
釜山　臺灣鹽合資會社食鹽特約店

# 藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
出張所　東京京橋區南傳馬町一丁目十番地　電話新橋三九六二

# 名譽大賞金牌受領
京都市開設の
全國製產品博覽會に於て
堺市開設の
關西製產共進會に於て







例年の通り六月十日より
本火入酒發賣致候間
倍舊御愛用を賜り度候
仁川本町
宅合名會社
仁川支店
電話六四番
各地到る處に販賣店あり御最寄にて御買上を乞ふ

眼科專門
本町一丁目癸十四番戸（元鍋井跡）（電話三十三番）
醫學得業士　前漢城病院眼科部長　江頭富雄
# 江頭眼科醫院

熱心單志多年爲斯道難於微妙、頗旨悦然似有得者距醫推應斷、敗毀茫洋爵愈涸腸索而輕證也
易斷觀　相談教授　通信判斷
京城本町五丁目
# 三一館
一件一圓特別二圓

東洋總代理店


電話壹壹八〇九四番

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗、
# G.D.印トルコ金口煙草（百本入　十本入）
外各種　百本入、二十本入、十本入とも今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て地方品へ價格表は御申越次第御送附可申上候
仁川本町一丁目
直輸入元　トルコ煙草商會
電話（七一五番）

時節柄數物及夜具等新調仕り室の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間舊倍の御引立奉願候
京城南山町四丁目
# 原金旅館
（電話長一七〇番）

---

滋養と牛乳
純良
# 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
衛生と消毒
馬車配達

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路
元花月樓跡
▲親切の下宿▼
かめ屋

# 金水合製ラムネ
衛生無害ラムネ、ミカン水
昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ
京城大和町二丁目
漢城製藥所長藥劑師　渡邊悦之輔

銀行一般業務精々御便利取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　八拾萬圓
京城南大門通
# 株式會社十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店　長崎市榮町
支店出張所　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山　韓國
大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐　日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候
（利息日歩壹錢四厘）
# 長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

# 日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話九三番

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　六月十日午後三時出
●大連、太沽、牛荘行　高砂丸　六月十日正午時出
●大連、太沽、牛荘行　山東丸　六月二十二日前五時出
●大連、太沽、牛荘行　酒田丸　六月十七日正午出
●釜山浦潮行　元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月十六日午後
御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料（一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲一ヶ年金四圓）
●廣告料（五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢▲特別）
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番